

さいたま市文化財時報

かや
 榎りほーと

第65号

平成28年度新指定文化財

さいたま市教育委員会は、平成28年11月2日付けで「よのこむらたひかわじんじやほんでんつけたりむなふだそりゆうしたてまつる与野小村田氷川神社本殿 附 棟札 奉造立ほうえいるくつちのとうしどしごかつきしょうにち寶永六己丑歳五月吉祥日の記があるもの」を有形文化財(建造物)として指定しました。

また、平成29年3月31日付けで「かんのんじちくそうしょうかんのんぼさつりゅうぞう観音寺木造聖観音菩薩立像」を有形文化財(彫刻)として指定しました。

これにより、市内に所在する市指定文化財は443件、国・県指定を含めた総件数は529件となりました。また、この他に市内には10件の国登録有形文化財があります。(平成29年4月1日現在)



▲与野小村田氷川神社本殿
 附 棟札 奉造立寶永六己丑歳五月吉祥日の記があるもの



▲観音寺木造聖観音菩薩立像

●さいたま市の新指定文化財(平成28年度)

種別	名称	員数	所在地	所有者
有形文化財 (建造物)	与野小村田氷川神社本殿 附 棟札 奉造立寶永六己丑歳五月吉祥日の記があるもの	1棟	さいたま市中央区 本町東6丁目7番	宗教法人 氷川神社
有形文化財 (彫刻)	観音寺木造聖観音菩薩立像	1躯	さいたま市桜区 大字宿147	宗教法人 観音寺

新指定

有形文化財(建造物) 「与野小村田氷川神社本殿 附 棟札
 奉造立寶永六己丑歳五月吉祥日の記があるもの」



▲本殿妻飾(東側)

与野小村田氷川神社は、与野本町通りの北端に所在する神社です。『新編武蔵風土記稿』の与野町の項には、「小村田村と当所の接地にて則両所の鎮守なり、社地扇子の形に似たるをもて、土人扇の宮と唱へり」とあります。この記述から、古くは小村田村と与野町の境にある両村の鎮守であり、敷地の形が扇子に似ていることから、「扇の宮」と呼ばれていたことがうかがわれます。

神社が創建された時期は明らかではありませんが、『与野市史中・近世資料編』には、宝永6～7年の関係文書が紹介されており、少なくとも宝永年間以前から続いていることがわかります。

現本殿は、虹梁や木鼻などの装飾から、江戸時代中期の建築とみられ、前述の関係文書に記された、宝永5年(1708)8月建立の「新宮殿」であると考えられます。なお、同文書によれば、与野町・小村田村の鎮守としての遷宮は、建立の翌年4月以降に遅れたことがわかります。今回、本殿と併せて指定された、宝永6年(1709)5月の日付が墨書された棟札(高さ174cm)は、その遷宮の際のものと考えられます。

本殿の構造は、二間社流造りです。全国的にみると二間社の流造り神社建築は例が少なく、その中でこの本殿は、本格的な造営になる江戸時代中期の二間社流造り本殿であり、資料により建立年及び建立時の状況が判明している貴重な建築です。全体の保存状況が良好な点も合わせて、保存価値が高いと判断され、市指定文化財として指定しました。



▲棟札(部分)

〇〇
 五合天中(「キヤ」)
 天惣戒師釋迦牟尼如来奉造立氷川明神宮一宇天長地久諸人快樂處
 敬白

我等今敬禮 戒行事觀世音菩薩	哀愍衆生者 諸行事普賢菩薩	證戒師大梵天王 右為令法久住利益人天	同國同郡植田谷領本村林光寺住 同國同郡下小村田村 在林寺 中村惣兵衛 原田与五兵衛	別當 神田六左右門 神田八右衛門 福田惣兵衛	地頭 武州足立郡與野領与野町 岡田兵右衛門 松本四郎右衛門 細井市郎右門	代官 岩崎又右門 井原次兵衛 丸善兵衛 佐次兵衛	于時 寶永六己丑歳五月吉祥日大檀那	聖主中天 今日行事彌勒菩薩	大行事帝釋天王 加陵頻伽聲 碑文殊師利菩薩
-------------------	------------------	-----------------------	---	---------------------------------	--	--------------------------------------	----------------------	------------------	-----------------------------

▲棟札銘文

新指定

有形文化財(彫刻) 「観音寺木造聖観音菩薩立像」

桜区宿の観音寺観音堂内に安置される木造の聖観音像です。観音寺は浄土宗の寺院で、本尊は阿弥陀如来ですが、この聖観音像と観音堂が寺号の由来と考えられます。

足など一部に後世の修復の跡がみられますが、仏像の頭や体等の主要部は、造られた当初の形のまま残されており、保存状態も良好です。鎌倉時代の仏像の様式から更に形式化が進んでおり、衣紋えもんと呼ばれる衣の皺の彫り等から室町時代の製作と考えられます。さいたま市域における仏像彫刻の展開や地域相を明らかにする上で貴重なものであることから、市指定文化財として指定しました。



▲観音寺木造聖観音菩薩立像

TOPICS

●さいたま市新指定文化財の指定書交付式を行いました

平成29年3月31日付けで指定した「観音寺木造聖観音菩薩立像」について、指定書交付式を5月10日(水)にさいたま市役所9階応接室で行い、所有者である観音寺の住職、佐藤氏に指定書を交付しました。



▲指定書交付式後の記念撮影

●「小室家資料」が埼玉県指定有形文化財に指定されました

埼玉県立文書館所蔵の「小室家資料」が埼玉県指定有形文化財(歴史資料)に指定されました。小室家資料は、比企郡番匠村(現ときがわ町)の小室家に伝来した、7,622点の資料群です。資料の内容は、家業の医学関係だけでなく、近世の名主文書や近代の村役場文書、文化人との交流や好事家として収集した郷土関係資料など多岐にわたっています。近世・近代における県内在村文化の成熟度を示す資料群として、学術的価値の高いものです。

●さいたま市の指定文化財の解除(平成28年度)

種別	名称	員数	理由	所在地	所有者
天然記念物	アケビ	1株	枯死	緑区大字大門	個人
天然記念物	大興寺のヒヨクヒバ	1株	枯死	緑区大字大門2583	宗教法人大興寺
天然記念物	イチョウ	1株	伐採	浦和区瀬ヶ崎3丁目	個人
天然記念物	シラカシ	1株	伐採	浦和区瀬ヶ崎3丁目	個人

さいたま市内指定文化財等公開カレンダー 平成29年7月から9月まで

市内各地で開催される行事で指定文化財が公開されるほか、「発掘調査成果発表会」や「最新出土品展」を文化財保護課主催で予定していますので、ぜひお出かけください。見学や公開に関する詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。文化財保護課(048-829-1723)までお問い合わせください。天候等により、中止や延期の場合があります。

	名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 内 容
1	宿の祭ばやし	7月8日(土) 14時から 大久保神社(桜区宿69) 大久保神社で公開される祭囃子で、宿地区を神輿とともに巡行します。祭りの終盤には、塚本、五関のお囃子と競演があります。
2	神田の祭りばやし	7月8日(土) 14時30分から 八雲神社(桜区神田550) 江戸神田囃子の系統の五人囃子で、八雲神社から神輿とともに、月読社をはじめ神田地区内を巡行します。
3	秋葉ささら獅子舞	7月15日(土) 秋葉神社(西区中釘818)・永昌寺(西区中釘1699) 10時に中釘自治会館を出発し、11時50分頃秋葉神社境内で獅子舞を披露します。また、16時より永昌寺三尺坊でも披露します。
4	鹿手袋の祭ばやし	7月16日(日) 10時から 鹿手袋会館(南区鹿手袋6-4-11) 神輿とともに山車に乗ったお囃子が地区内を巡行します。
5	駒形の祭ばやし	7月16日(日) 12時から 須賀神社(緑区中尾1430-3) 須賀神社で公開される祭囃子で、駒形地区を神輿とともに巡行します。宵山(前日の夜)には、お囃子に合わせオカメ・ヒョットコや獅子舞も披露します。
6	田島の獅子舞	7月16日(日) 16時から 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
7	砂の万灯	7月16日(日) 16時から 八雲神社(見沼区東大宮1-13-9) 7組の万灯組が、悪疫退散等を祈願して万灯を境内に並べます。夕方に灯を点された万灯は、日中とは違う印象が楽しめます。
8	浦和まつり	7月23日(日) 14時15分から 中山道浦和宿(浦和区仲町他) 浦和木遣保存会が、旧中山道を八雲神社から調神社まで、木遣歌を歌いながら歩きます。また、駒形の祭ばやし、宿の祭ばやし、神田の祭りばやし、鹿手袋の祭ばやしも参加します。さらに、「仲町獅子王祭獅子頭」(市指定有形民俗文化財)を仲町御酒所にて公開します。
9	氷川女體神社の名越祓え	7月31日(月) 15時から 氷川女體神社(緑区宮本2-17-1) 悪疫退散、健康を祈願する夏越しの行事で、人形に切った紙を川へ流し、穢れを取り除いた後、マコモで作った大きな輪を歩いてくぐります。
10	最新出土品展	9月5日(火)～9月18日(祝) 9時～16時30分 さいたま市立博物館 特別展示室 平成28年度を中心に、市内各所で発掘した出土品や、調査の様子を展示します。※9月11日(月)は休館です。(9月から1月にかけて、市内の博物館・公共施設等で巡回展示します。)
11	さいたま市内遺跡発掘調査成果発表会	9月9日(土) 10時30分～15時00分 さいたま市立博物館 講座室 市内の遺跡の発掘調査成果を各調査担当者が発表します。また、終了後に「最新出土品展」会場において、各調査担当者が展示解説を行います。
12	岩槻の古式土俵入り(笹久保地区)	9月17日(日) 15時から 篠岡八幡大神社(岩槻区笹久保810) 幼稚園から小学生までの子どもたちが、化粧回しを身につけ、古くから伝わる土俵入りの型を演じます。子どもの健康、安全を祈願して行います。